

6割の企業が従業員不足に

共同求人委の採用意向調査

全道共同求人委員会は、会員企業(5617社)を対象とした採用意向調査を2023年12月20日に送り、1月中旬までに回答のあった471社(昨年は445社)について分析しました。

従業員充足感は、充足している企業が24.4%(昨年比6.7%増)、不足している企業が57.7%(昨年比2.4%増)となり、どちらともいえないが17.8%(昨年比8.5%減)となっている。

図1. 従業員の充足感

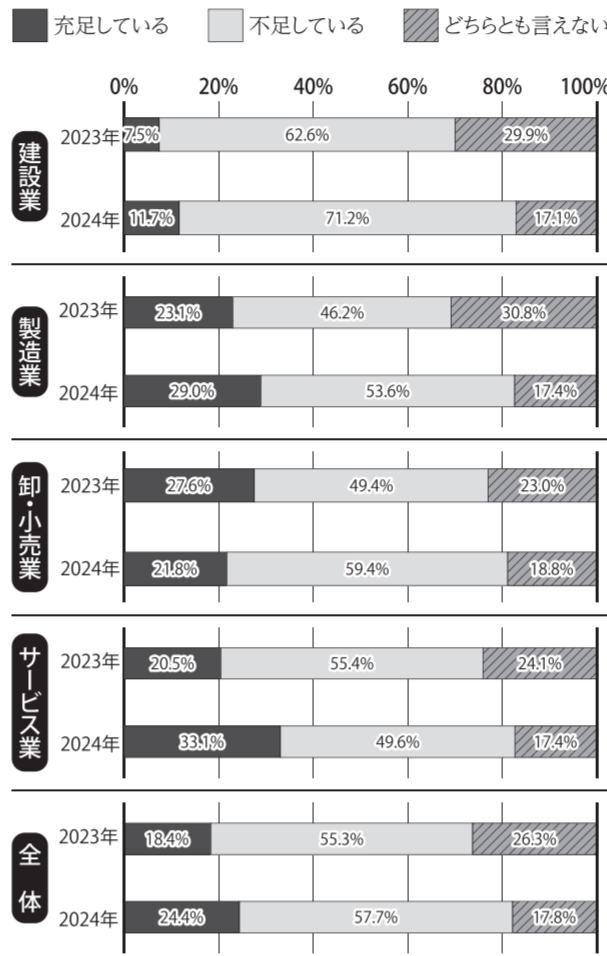
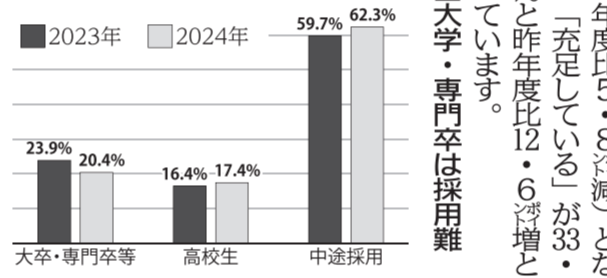


図2. 採用人数の構成比



となり、経済活動の回復から従業員の不足感が一層増してきています(図1)。特に建設業は「不足している」が71.2%(昨年比8.6%増)と他業種より高く、次に卸・小売業は59.4%(昨年比10.9%増)、製造業は53.6%(昨年比7.4%増)となり、一方サービス業は49.6%(昨年比5.8%減)となり、「充足している」が33.1%と昨年度比12.6%増となっています。

表1. 新卒者を採用する方法について(複数回答)

項目	回答数	構成比
社内の年齢構成を整えたい	276	34.7%
会社に新風を吹き込む	151	19.0%
将来の幹部社員として期待	145	18.2%
会社の考え方を浸透させたい	145	18.2%
新しい技術を開発充実させたい	33	4.2%
中途で採用できなかったため	23	2.9%
その他	22	2.8%
計	795	100.0%

23年度の採用は採用したものが59.2%、「採用していない」が40.8%と前年度と同じ傾向となりましたが、内訳は大学・専門卒が約3割減り、高卒が1割増、中途採用が2割増となり、大学・専門卒の採用難が続いています(図2)。

■新卒者の採用理由
新卒者の採用理由については「社内の年齢構成を整えたい」が34.7%、「会社に新風を吹き込む」19%、「将来の幹部社員として期待」18.2%と続きます。会社に新風を吹き込むが昨年より高くなっています(表1)。

■インターンシップも採用のきっかけに
新卒者の採用方法については、「学校に直接連絡を取る」が24.7%と昨年比2.3%増となり「就職情報会社」が21%と昨年比10.2%増となりました。また「インターンシップ」が20.7%と採用活動として定着しつつあります。

採用活動に関わる費用は、10万円未満が40.3%と昨年比7.8%減となる一方、50万円以上が14.6%、100万円以上が15.9%と合わせて30.5%(昨年比6.2%増)となり、人手不足と採用難で採用に関わる費用が上ってきていることが分かります。

全道共同求人委員会は、今後とも求人誌の継続発行や学校との連携強化等、長期的な視点で優秀な人材確保の活動を進めていきます。

全道共育委 後輩導く2年目に 新入社員フォローアップ研修会

全道共育委員会は2月7日、新入社員フォローアップ研修会Part2を札幌会場とオンラインにて開催。全道からは47名の受講者と9名のサポーターが参加しました。報告者は、入社4年以内の



エル技術コンサルタントの佐藤寛さんとエースの岡田紫さん。「働くこと、成長するって何だろう?2年目に向けて」をテーマに、自らの経験から報告する佐藤寛さん(右、報告する佐藤寛さん(右)、岡田紫さん)

佐藤さんは「成功体験から仕事のやりがいを見つけたら、2年目はぜひ挑戦の年にして欲しい」と呼び掛け、岡田さんは「1年目で学んだ基本を忘れずに、これから入社する後輩に接して欲しい」と提起しました。報告後のグループ討論では「2年目に向けた、なりたい自分像」を意見交換しました。

円滑な就活へ情報共有

企業と学校の意見交換会

【旭川】道北あさひかわ支部は1月25日、「第2回企業・大学関係者や、地元企業の採用担当者46名が参加し



た。学校・企業の相互理解と円滑な就職活動の促進が目的。北海道科学大(札幌)からもりもろが参加するなど、地域を超えた意見交換会となりました。

当日は「学生に企業を知ってもらうには、学生が身に着けておくこと」等をテーマにグループ討論。学校側からは「休日数を重視する学生が増えた」、「高校生の就職には親の意見も大きく関わる」との声が出された一方、企業側からは「地方からの若者減少に、強い危機感がある」という課題も提起され、率直な情報共有と意見交換が行われました。

参加者から「次年度以降もぜひ開催してほしい」との要望も寄せられ、共同求人委員会は次年度の開催も検討しています。